

新システムの開発について

「見やすい」「使いやすい」「わかりやすい」

利用者の目線に立ち、選択を支援できるシステムを構築していく

現行システムの主な課題

■画面が見づらい、分かりにくい

(情報量、テキストが多く頭に入らない)

■操作方法が難しい

(どうやって検索すれば良いのか分からない)

■事業所の特色が分からない

(どこを見れば事業所の特色がわかるのか)
(現行システムは事業所のメリットが少ない)

見直しのポイント

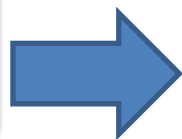
一般の利用者の目線に立った、
分かりやすい内容に工夫

ネット初心者でも迷わず、必
要な情報が得られるよう工夫

事業所の特色が一目でわかる
よう工夫

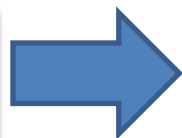
見直しのポイント

一般の利用者の目線に立った、
分かりやすい内容に工夫



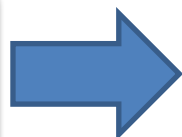
- 全体をとおして「シンプル」な画面とする
- テキストだけでなく、地図、ボタン、アイコン等を活用する
- 配色は高齢者でも見やすくなるよう工夫
- 説明はわかりやすい表現とし、絵・図を活用し親しみやすいホームページとする

ネット初心者でも迷わず、必要
な情報が得られるよう工夫



- 一画面の情報量を最小限にし、迷いを防止する
- 膨大な事業所情報を「内容」ごとに整理する
- 閲覧者をサポートする「解説」「ヘルプ」機能を大幅に充実する。

事業所の特色が一目でわかる
よう工夫



- 「事業所の特色」ページを創設し、事業所がPRしたい内容を自ら投稿できる仕組みとする
- 利用者にとって有益な情報である、画像や動画についても閲覧ができるようにする

※「事業所の特色」ページの投稿は、事業所の任意